

瓦版OOC新聞

第1号

発行者

2016年9月14日

大森氏おしやべり倶楽部

今回は十月十二日(水)、
UMECOが会場です。

きょう9月14日(水)午後、小田原市民交流センター(UMECO)で「大森氏おしやべり倶楽部」(仮称)の第一回の集まりがあった。参加者は12名。会は「あおさん」が用意した資料で進められた。

【企画の意図】

○ひとりでは

おしやべりできない

たかぶらず

おしやべりしたい

○滅んでいった人たちも

一度は咲いた花である

花の跡を訪ねるのもまた風流

○自分以外のことに

目をひらき

耳をかたむけ

おしやべりする

これは若いうちにはできない

おしやべりから深慮がうまれる

〈あお〉

1【参加の動機】

○あまりにも北条氏が大きく取り上げられ、それ以前の大森氏の由緒は聞く(調べる)機会がなかった。おしやべりのなかで自分の考えを整理したい。〈たな〉

○百年六代にわたって小田原を治めていた大森氏について資料・情報が少ない。ひとりでは挫折するから、仲間と一緒に現地巡りを含めて、調べて、まとめてみたい。結論のないおしやべりもまた楽しや。〈いい〉

○北条氏は備中からこの地にやってきた。大森氏はどこから来たのか。どこへ行ったか。私は伯耆の国からやってきた。〈あら〉

○この倶楽部を通して史談会組織をこえた交流をしたい、できれば理事以外の人も交流したい。〈まつ〉

2【自分がやりたいこと】

○国家、地方などの人の集団はどういう順に、どのようなかたちで出来ていったのかに関心があります。大森氏に関しても同じような関心で勉強したい。〈さく〉

○大森氏の出自は、どこから来たのか、その系統について勉強したい。〈すど〉

○この地方にどのような影響を与えたのか。なぜ急激(?)に衰頹したのか(北条氏との接点は?)〈たな〉

○正史だけでなく伝承伝説等もやりたい。〈やま〉

【自分がやりたいこと】

○大森氏がその後の北条氏のことをどう考えていたか、どんな感じを持ったのか、知りたい。大森氏は何を大事にしてきたのか、また大森氏と北条幻庵との交渉についても考えていきたい。〈あら〉

3【きょうの感想】

○中世の動乱が判りにくい。大森氏の足跡が少し理解できた。〈うへ〉

○益々混乱を極めそう。ただ愚直に取り組んでどうなるか。偏諱から攻めて行くのは面白そうだ。〈ひら〉

○おしやべりして出た疑問点を次回のテーマとしてまたおしやべりしたい。散漫にならないようにテーマを決めてやったらいいと思います。〈やま〉

○「毛細管」理解でなく「骨格」理解で、大森氏等を勉強したい。〈さく〉

○大森氏研究がなぜ挫折するのか分かった気がする。つかみどころがないからだろう。次回までに、上杉禅秀の乱・永享の乱・享徳の乱と大森氏の関係を図式化したい。〈まつ〉

○自分でこの中からテーマをさがす事、それにつきる気がします。面白そうなところばかりがある予感がします。〈あら〉

○良きリードで一歩前に進めそう。資料は何でも良いので、まず頭を整理していきたい。〈いい〉

○各方面よりの調べ方、話し方、気くぼり、大変勉強になりました。〈きた〉

○おしやべりのネタを少しは仕込むことができたようで、次回もどんどん仕込みを続けたい。〈あお〉